

「第29回アドバイザー全国大会」11/13(日) オンライン開催 報告 テーマは「“つながりと共感”で地域共生社会を創る～今こそアドバイザーが担い手に！」

令和4年度「第29回健康生きがいきづくりアドバイザー全国大会」が11月13日(日)にオンライン開催され、個人参加に加え協議会単位でまた各会場に複数のADが集まった集団参加等、全国から150名を超えるアドバイザー(以下、AD)に視聴いただきました。

辻理事長からは「人生100年時代のアドバイザーのあり方について」と題した「講話」が、続く「2、アドバイザーの魅力度アップを目指して」では、5協議会から『AD養成講座での参加者増を目指した取り組み』『AD会員のフォロー体制及び活動支援策』について、地域性に富んださまざまな工夫や試行の事例発表がおこなわれ、AD受講者増へのヒントが見えたプログラムとなりました。続いて「3、『人生100年時代の健康・生きがい新研究会』からの中間報告」では、『女性の社会参加』『多世代交流』『スマートフレイル』『ネットによる“つながり”』といった、人生100年時代及びウイズコロナに対応した新研究会発足の経緯と中間報告があり、今後の研究成果に期待が持てる内容となりました。最後に「80歳からの生き方研究会」の研究成果をまとめた一般販売書籍「80代からのいきいきライフ」(四六判、264P、1600円+税)の完成披露が行われ、早速多くのADから購入申し込みをいただいているところです。(書籍の紹介はP10)

時間	プログラム (進行:大和 哲(財団事務局))
12:00～	入場開始 申込者へは11月4日(金)にオンライン参加の招待メール送付、入場は当日12時から
13:00～13:15	開会挨拶(財団概況含む)——— 松浦隆志(財団常務理事)
13:15～13:45 (30分)	1. 講話「人生100年時代のアドバイザーのあり方について」 辻 哲夫(財団理事長、東京大学高齢社会総合研究機構客員研究員)
13:45～14:45 (60分)	2. 「アドバイザーの魅力度アップを目指して」——— 進行:藤村宣之(財団事務局長) ＜協議会からの報告と意見交換＞ (1)「アドバイザー養成講座」参加者増を目指して「参加者募集の工夫」 ①(一社)神奈川健康生きがいきづくりアドバイザー協議会——— 事務局長 徳田裕美子 ②石川健康生きがいきづくりアドバイザー協議会——— 会長 岸 弘市 ③山梨県健康生きがいきづくりアドバイザー協議会——— 会長 沢登京子 (2)アドバイザー育成策としての「受講後のフォロー体制、活動支援策」 ①(一社)健康生きがいきづくりおかやま——— 会長 松井浩明 ②(一社)健康生きがいきづくりアドバイザー北海道協議会——— 代表理事 渡邊一栄
14:45～15:00	休憩
15:00～16:00 (60分)	3. 人生100年時代の健康・生きがい新研究会からの中間報告 ——— 進行/小川文男(「新研究会」主任研究員) (1)「新研究会」の目的と今後の方向性(小川文男) (2)部会からの中間報告 ①「女性の社会参加」部会——— 江口郁子(長岡健生創生ネットワーク) ②「多世代交流」部会——— 八木一龍(神奈川健生) ③「スマートフレイル」部会——— 井手口ヤヨイ(ひろしま健生) ④「ネットによる“つながり”」部会——— 坂手誠治(健生ネットワーク京都) (3)「80歳からの生き方研究会」成果物完成報告(吉田隆幸(財団副理事長)) ○一般販売書籍「80代からのいきいきライフ」完成披露と、「人生100年時代・ライフスタイル充実講座～80歳から輝いて生きる自分をつくる～」の全国展開へ向けて
16:00～16:25	4. 全体講評——— 國松善次(財団副理事長)
16:25～16:45	閉会挨拶——— 吉田隆幸